

# 授業プランシート（小学校 算数）

月 日 ( ) 5年 組

単元名： 小数÷小数  
( 2 / 10 )

授業者

## 1 本時のねらい

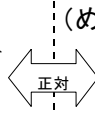
### A数と計算（3）イ（ア）

・数直線を用いて（整数）÷（小数）の立式し、計算の仕方を考えることができる。

## 2 めあて、まとめ、振り返り

（まとめ）

整数÷小数の計算は、わり算のきまりを使って（整数）÷（小数）の計算の仕方を考えよう。  
 小数を整数になおすと計算することができる。



（振り返り） ※数学的な見方・考え方について書かせる。 T「どんな考え方をして解決したのか振り返ろう」  
 ・整数÷小数の計算は、0.1のいくつ分で考えると整数÷整数で計算できる事に気づきました。  
 ・整数÷小数の計算は、わる数を整数にするためにわり算のきまりを使うと計算しやすかった。

## 3 本時の展開

### 【導入】（8分）

①問題把握

○ 整数÷整数の場面から、2本数直線を使って立式させる。（電子黒板）

**問題** 2.4mのねだんが96円のひも、1mのねだんを求めましょう。

②課題の焦点化

○ 言葉の式から立式させる。

○ なぜ難しいのか、既習とどこが違うのか、どこを工夫すれば解けそうか、見通しを持たせる。

### めあて 整数÷小数の計算の仕方を考えよう

\*答えの予想 \*方法の予想 \*考え方の予想

### 【展開】（25分）

③自力解決(5)

**考え①** 単位のいくつ分 **考え②** わり算のきまり

※ 図・式・言葉を使って考えを表現させる。 【思判表】自力解決、比較検討の場面で、ノートや発言をもとに評価する。

④比較検討(5)

○ ペアで友達と話し合う。 ※ どの考えを使ったのかを確認させる。

⑤比較検討(15)

○ 全体で2つの考え方について、図と式を関連させ説明させる。

※ 友達の考えを聞き、自分と違う所や似ている所について質問させる。

※ どの考え方を使って解いたのかを記入させる。

⑥適用(3)

$$96 \div 0.8$$

### 【終末】（7分）

⑦まとめ

**まとめ** 整数÷小数の計算は、わり算のきまりを使って小数を整数に直すと計算できる

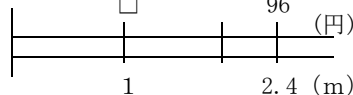
⑧振り返り

○ 上記視点で書いている児童を数名発表させ、次時へつなぐ

## 4 板書レイアウト等

### め 整数÷小数の計算の仕方を考えよう

問 2.4mのねだんが96円のひも  
1mのねだんを求めましょう。



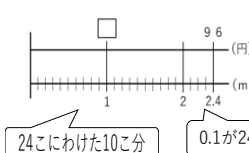
もとのねだん÷長さ=1mのねだん  
(全部)÷(いくつ分)=(1つ分)

$$\text{式 } 96 \div 2.4 = 40$$

答え 40円

予 ・半分の48円よりは安いと思う  
・10倍する  
・2.4は、0.1が24こだから…  
・数直線 ・テープ図

### 0.1のいくつ分



$$96 \div 2.4 = 4$$

$$4 \times 10 = 40$$

答え 40円

$$96 \div 2.4 \times 10 = 40$$

### わり算のきまり

$$96 \div 2.4 = 40$$

$$\downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \quad \uparrow$$

$$960 \div 24 = 40$$

### わり算のきまり

わる数とわられる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても商は変わらない

2.4を24にしている

ま 整数÷小数の計算は、わり算のきまりを使って小数を整数に直すと計算できる

練 わり算のきまり

$$96 \div 0.8 = 120$$

$$\downarrow \times 10 \quad \downarrow \times 10 \quad \uparrow$$

$$960 \div 8 = 120$$

振